

2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
コーチング論研究	1・2年次春学期 (1・3セメスター)	講義	2	湯浅 景元

授業概要

コーチングの変遷、役割、コーチングを展開するために必要なスキルについて、理論を中心とした講義、事例の紹介、および演習を通して理解を深めていきます。講義では、コーチングに関する代表的な理論を紹介します。事例の紹介では、主に競技スポーツにおけるコーチングの具体例を紹介し、コーチングを展開するために必要なスキルを学びます。演習では、受講生がコーチングを行うとき遭遇すると思われることについて主体的に考える機会とし、コーチングの理論と実践の融合についての検討を行います。

授業目標(到達目標)

- ・コーチングとは何か、コーチングの展開法などコーチング論が対象とする領域について理解し、説明できること。
- ・コーチングが競技スポーツにおいて重要視されるようになった背景について理解し、説明できること。
- ・コーチングの役割について理解し、説明できること。
- ・コーチングを実践できるための理論を理解し、説明できること。
- ・コーチングを実践できるための能力を養い、実際にコーチングを展開できること。

成績評価方法・基準

毎時間の課題の理解度(50%)、口頭発表(25%)、レポート(25%)

教科書・教材・参考文献 等

[テキスト]

使用しない。(必要に応じて資料を配る)

[参考文献]

月刊誌『コーチング・クリニック』(ベースボール・マガジン社)、福永哲夫・湯浅景元著『コーチングの科学』(朝倉書店)、Paul E. Robinson著『Foundations of Sports Coaching』
その他、適時、参考文献を紹介する。

授業計画

項目・内容		
1	コーチングとは何か	コーチングに関する基礎知識(歴史、役割、スキルなど)の概要
2	コーチングの歴史	世界におけるコーチングの歴史、日本におけるコーチングの歴史
3	コーチングの役割	コーチングに期待されている役割、競技レベル別のコーチングの役割
4	コーチングのスキル	コーチングを展開するためのスキルの種類と特徴
5	コーチングのためのコミュニケーション	コーチングで利用できるコミュニケーションの種類と特徴
6	コーチングとポートフォリオ	ポートフォリオの特徴、コーチングにおけるポートフォリオの活用
7	コーチングと倫理	倫理とは、コーチングにおける倫理の必要性
8	コーチングと教養	教養の役割、コーチングに必要な教養
9	アスリートのアントラージュ	アスリートを取り巻く関係者、アントラージュとしてのコーチング
10	コーチングと身体動作の観察	コーチングのための身体動作の観察法
11	コーチングと施設・用具	施設・用具の役割、施設・用具の安全かつ効果的な活用法
12	コーチングと自然環境	気温、湿度、空気、水などの自然環境が運動する人に及ぼす影響
13	コーチングと統計	コーチングの有効性を高めるための統計学の活用
14	コーチングとIT	コーチングの有効性を高めるためのITの活用
15	これからのコーチング	コーチングの望ましい将来像

履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)

スポーツばかりではなく、教育、医療、家庭、企業などの他分野でコーチングの必要性が認識されるようになってきました。受講生の皆さんがどの分野に進もうとも、そこにいる人(本人を含む)の能力を引き出すことが必要となります。その際に活用できる知識やスキルを学ぶ機会となるように心がけます。事前に教材で学習内容を学ぶことで、授業での理解が深めやすくなります。また事後に、学習した内容の振り返りを通して学習内容の理解力や実践力を定着できるようになります。